特許出願等援助申請書　「考案の詳細な説明」の雛形（実用新案登録出願用）

【考案の名称】

【技術分野】

【従来技術を示す先行技術文献】

【考案が解決しようとする課題】

【考案の詳細な説明】

　【本件考案の構成（具体的な内容）】

　【考案が解決しようとする課題が解決される説明】

【説明図】

　図１

　図２

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

＜記載の仕方＞

１．「考案の名称」の欄には、援助を受けたい考案（以下、「本件考案」という。）を端的に示す名称を簡潔に記載して下さい。

２．「技術分野」の欄には、以下の例に準えて記載して下さい。

　例えば、「本件考案は、コンピュータ・ソフトウェアの技術分野のうち、スマートフォン用のアプリケーションに関する。」等のように、本件考案を適用して実現される製品又はサービスについて説明を記載して下さい。

３．「従来技術を示す先行技術文献」の欄は、本件考案と技術的に関連性の高い技術が記載されている技術文献を記載して下さい。

　上記の先行技術文献は、例えば、J-PlatPat（https://www.j-platpat.inpit.go.jp/reject\_sorry.html）、又はインターネット等を利用して検索し、以下のように記載して下さい。

①J-PlatPatにて発見された先行技術文献の場合の記載例

　　特開２０００－１２３４５６、登録実用新案１２３４５

②インターネットを利用した検索の場合の記載例

新崎 準，外 3 名，“新技術の動向”，［online］，平成 10 年 4 月 1 日，特許学会，［平成 11 年 7 月 30 日検索］，インターネット

　　＜URL：http://tokkyo.shinsakijun.com/information/newtech.html＞

③刊行された文献の場合の記載例

　　○○○○著、「△△△△△」××出版、2001 年 1 月 1日、p.12―34

４．「考案が解決しようとする課題」の欄には、本件考案で解決したい技術的課題（以下、解決課題という。）であって、先行技術文献に記載されている考案（以下、先行技術という。）では解決されていない技術的課題を記載して下さい。

　なお、本件考案の解決課題が、既に先行技術にて解決されている場合であって、その解決課題を解決するための具体的な構成・手法（以下、解決手段という。）が異なる場合には、以下の内容を記載して下さい。

①先行技術の解決手段と本件考案の解決手段との相違点

②上記の相違点に起因した先行技術の技術的課題であって、本件考案で解決されている技術的課題

　　（上記①及び②の記載例）

　　先行技術と本件考案とは、～～の点で相違する。

先行技術では、その相違点により～～という技術的課題（問題）が発生する。

そこで、本件考案は、先行技術が有する～～という技術的課題を解決することを目的とする。

５．「考案の詳細な説明」の欄は、以下の点に留意して記載して下さい。

　　　説明は、箇条書きで構いません。例えば「新たな部品を・・・に取り付けた」、「その部品の形状は、・・・である」というように具体的、かつ簡潔に記載してください。

　＜本件考案の構成（具体的な内容）＞について

　　（ａ）できるだけ図面又は写真などを使って説明してください。例えば、全体図、考案等のポイントとなる部分の拡大図などを添付してください。なお、図面を使って説明するときは、説明したい部品などに符号（数字またはアルファベットなど）を付け、説明文と図面との対応関係を明確にしてください。

　　（ｂ）試作品（複数でも可）があれば、その試作品の図面又は写真などを使って説明してください。

　　（ｃ）物の考案等であれば、その物を構成している部品及び各部品間の関わり合いを図示して、部品がどのように動作するのかを説明してください。動作に特徴がある場合には、動作の前後を示す図面を用いて説明して下さい。

　　（ｄ）コンピュータ・ソフトウェア関連の考案であれば、単に機能のみを記入するのではなく、例えば機能ブロック図、フローチャートなどを用いて、その機能がコンピュータ上でどのように実現されるのかを記載してください。

　　（ｅ）「説明図」は別紙として下さい。図面には図番（例えば、図１、図２等）を付し、説明文中では、図番を引用して説明して下さい。

　＜考案が解決しようとする課題が解決される説明＞

　　「考案が解決しようとする課題」に記載された解決課題が、具体的にどのように解決されるのかを、先行技術との相違点を明確しながら記載して下さい。

６．備　考

　　この雛形は、考案の内容を第三者（特に、審査員）が容易かつ正確に理解できることを目的としたものですので、この雛形に沿った記載をお願いします。

　　　　特許出願等援助申請書「考案の簡単な説明」の雛形（実用新案登録出願用）

＜考案の名称＞

　○○装置

＜本件考案の説明＞

　本件考案は、～～である。これにより、～～という効果を得ることが可能である。

＜先行技術等＞

　特○○公報（カタログ、インターネット）には、～～が記載（掲載）されている。

＜本件考案の特徴＞

　本件考案は、～であるので、先行技術に対して優れた効果等を奏する。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

＜備考＞

「考案の簡単な説明」は、「考案の詳細な説明」の要約書的なものです。

可能な限り、簡潔に（できれば、４０文字×５０行程度で）記載願います。